

日本原產馬的
最快時速
約為40公里



幾乎等同於
職業拳擊手的
最快出拳速



換言之

只要對手
騎上馬
架著刀向前突進



就能看到
如刺拳般
迎面襲來的巨刃





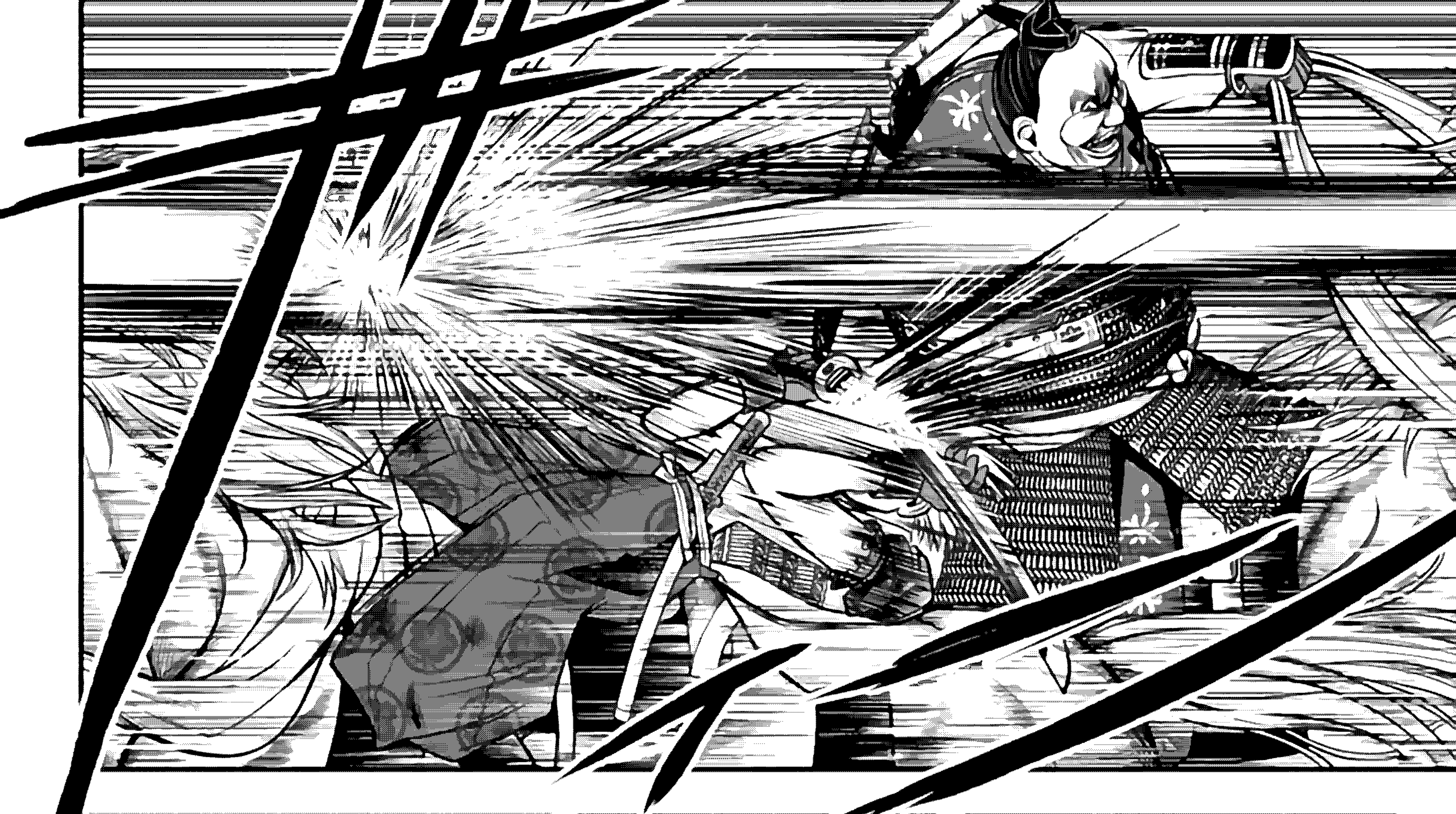
★鋼腕の一撃…!!

逃げ上手の若君

第30話 騎馬戦1334

まついゆうせい
松井優征





論速度和力量
步兵對騎兵
完全處於劣勢

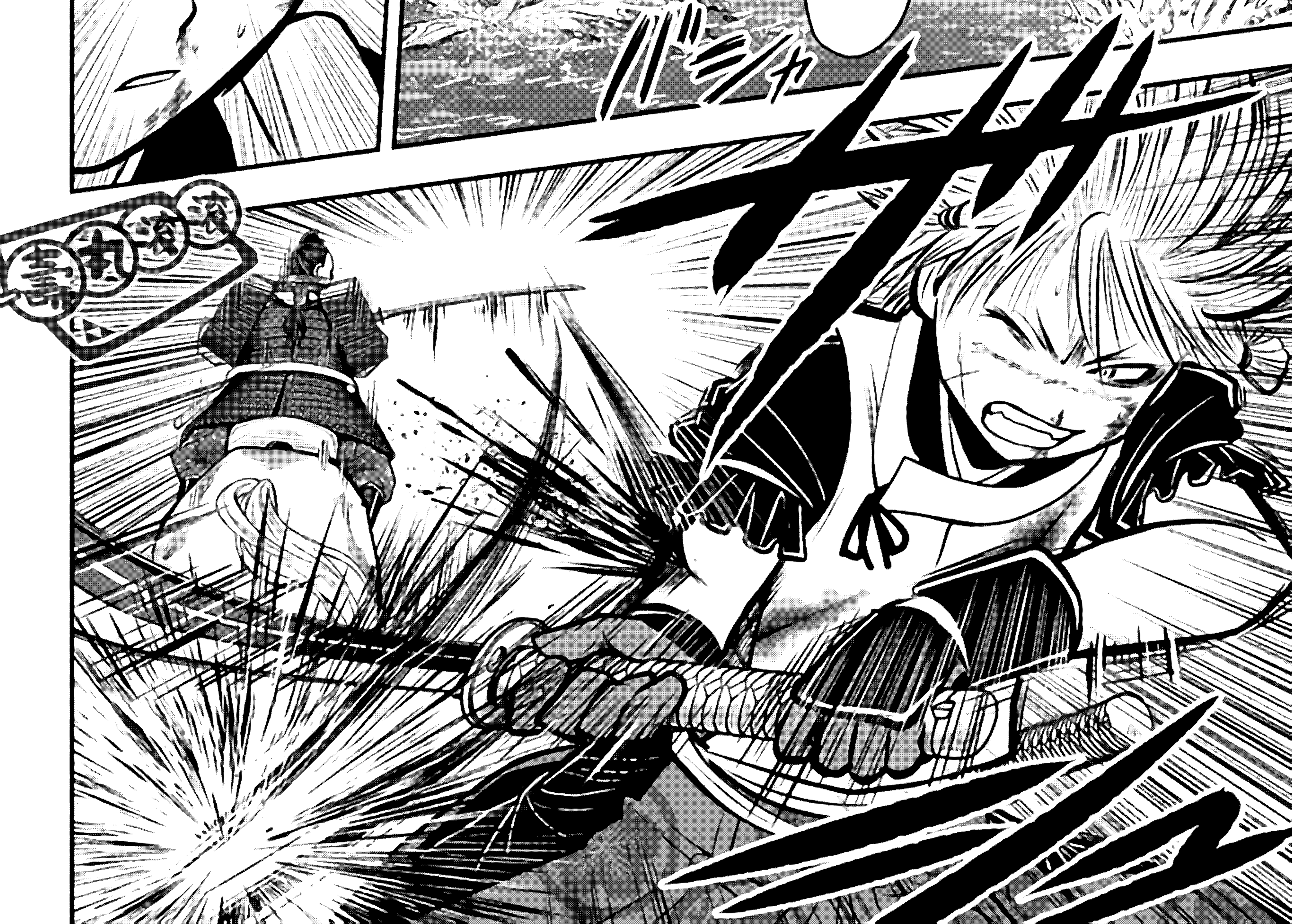
就好比
徒步的情侶

和大型
電動車的
較量

所以肥豬
才最先解決了
騎馬的那兩人

這時
我一旦退出

肥豬就要
開始無雙了！





每次交鋒
都會變弱……
呵呵呵

他已經
沒有餘力
抵抗下次
進攻了

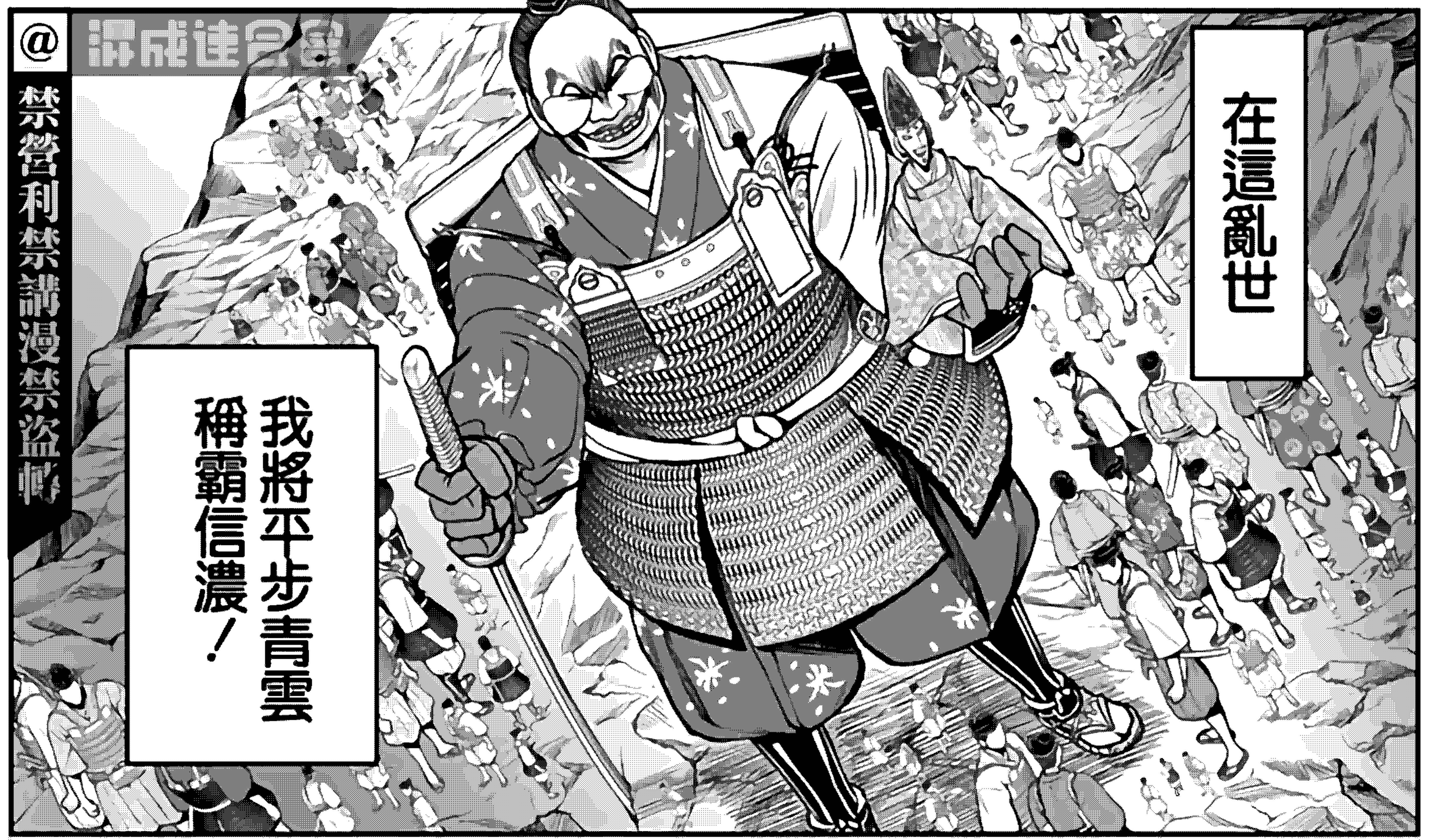


我對
這小鬼的人頭
沒興趣

奈何國司大人
如此期望

空有野心
一無是處的
國司

靠那傢伙的
權威和野心
擴張勢力



在這亂世

我將平步青雲
稱霸信濃！



弧次郎！

不用管我！

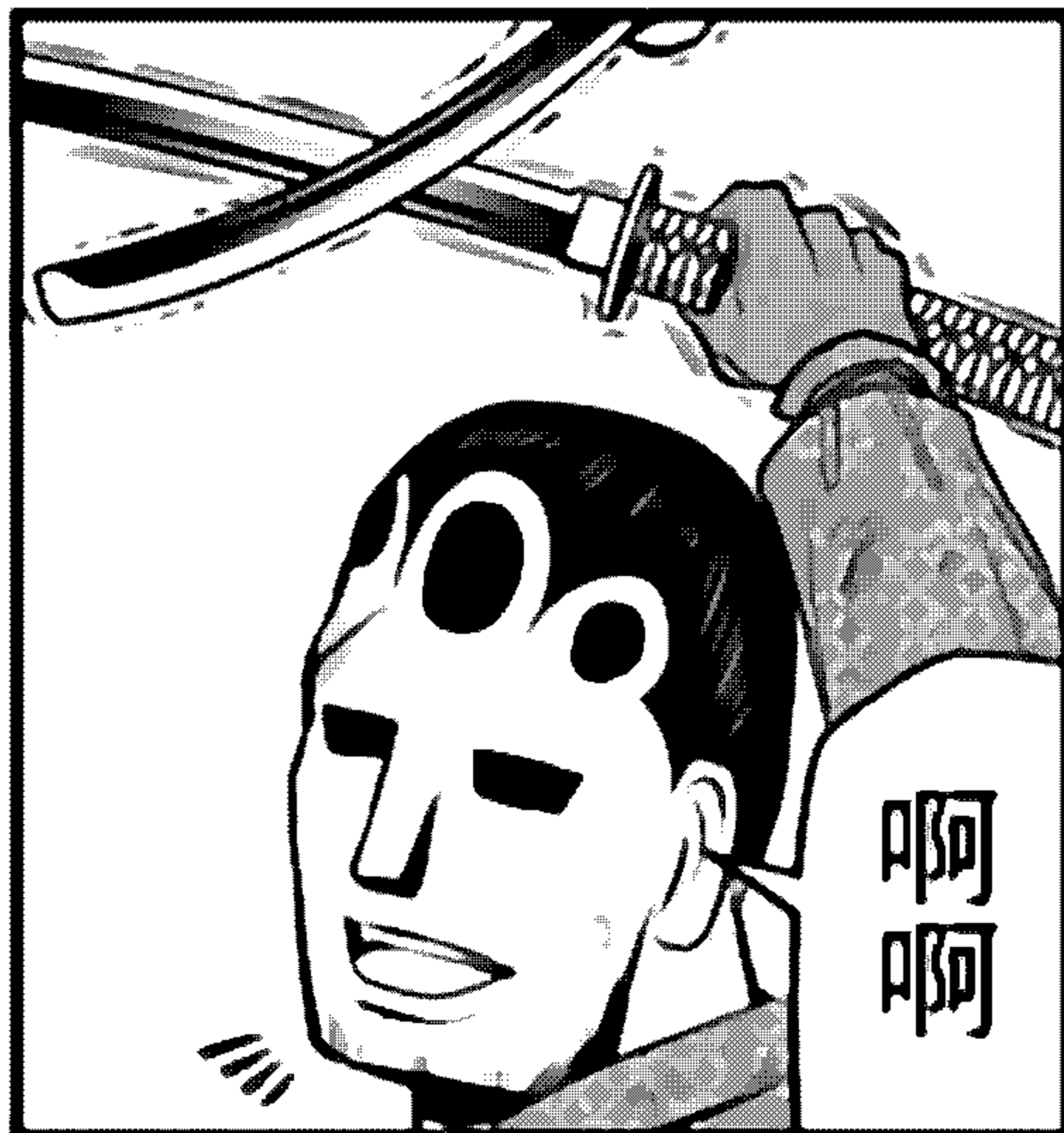
快收拾
殘敵！



說來
你怎麼知道
我的名字



我都
沒提過



啊啊



昨天御使大人
不顧保科殿下狂怒

一直把你
掛在嘴上

好羞恥

好耶弧次郎
千萬別死了啊！

快看快看
那個弧次郎
是我的郎黨！

大顯身手的
那個弧次郎
是我朋友！

不過

總感覺透過他們
聽見了少主的呼聲

爲了不讓
主君蒙羞

至少要讓他
挨上一刀！





嗚嘎啊啊
可惡!!

不是吧!?

那麼大塊頭
居然
閃過去了!?



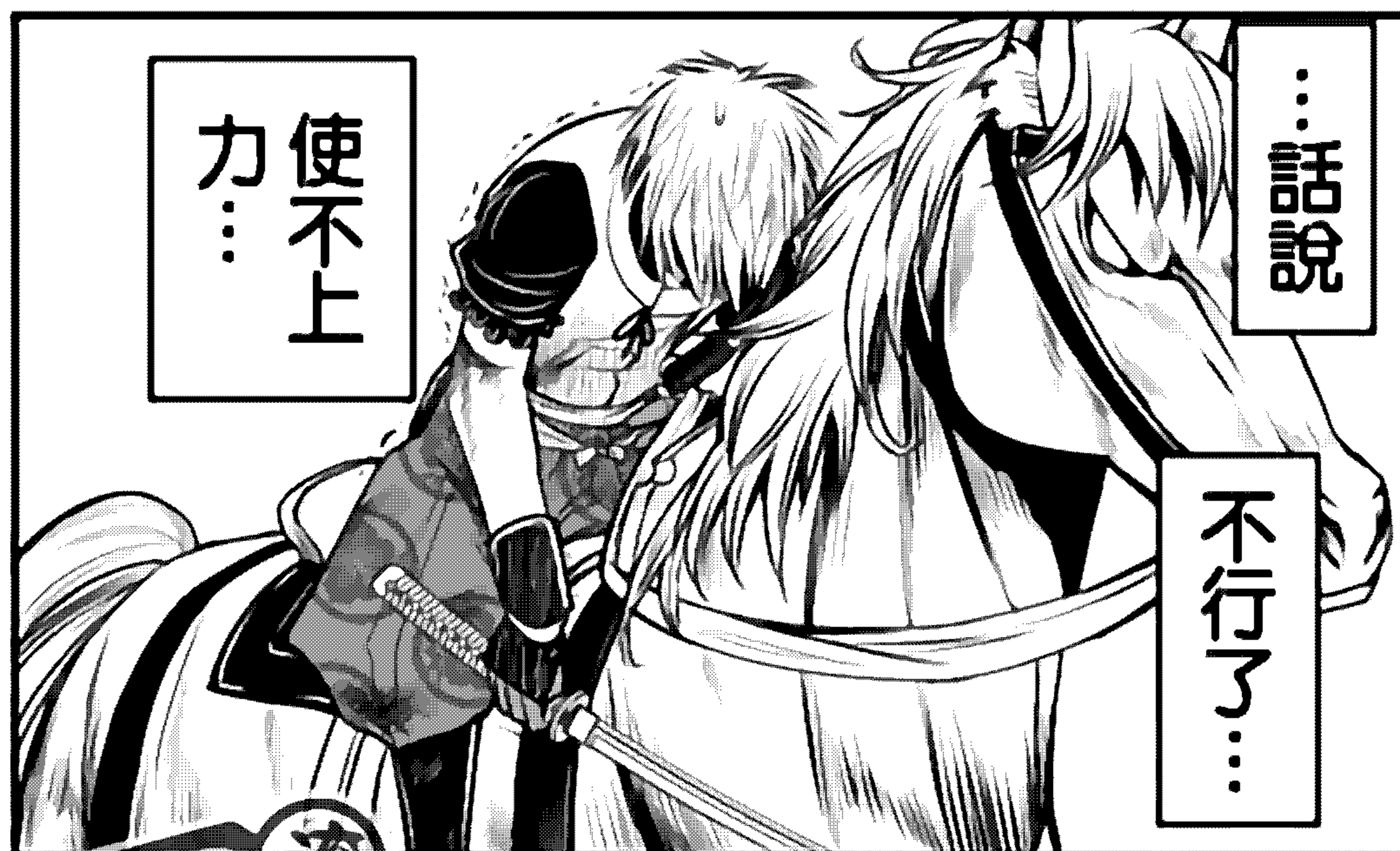
不愧是統率
一軍的將領

佩服……



哦啦啦啊
還真有兩下子！

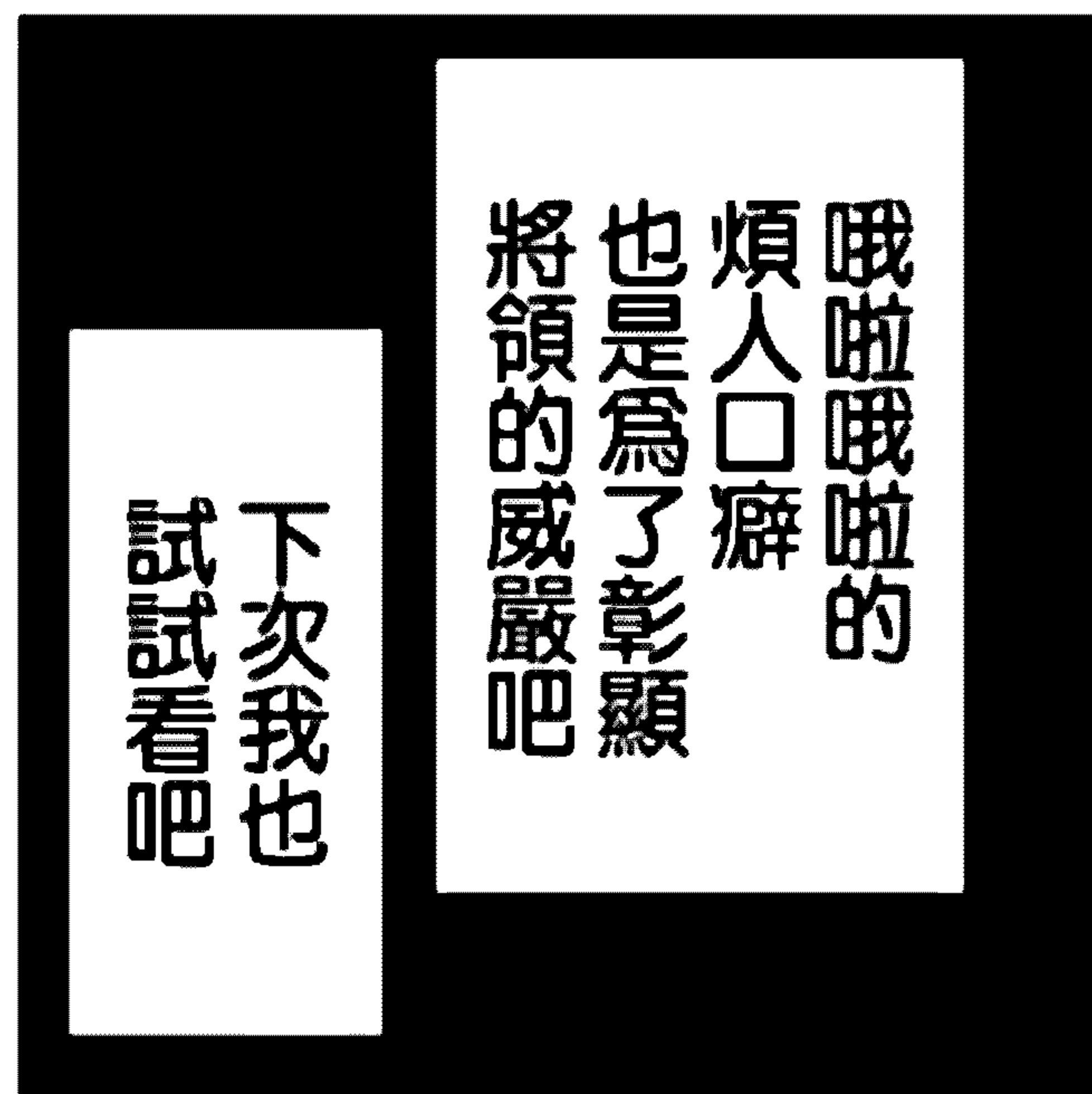
這傷
可不便宜！



……話說

不行了……

使不上
力……



哦啦啦啦的
煩人口癖
也是爲了彰顯
將領的威嚴吧

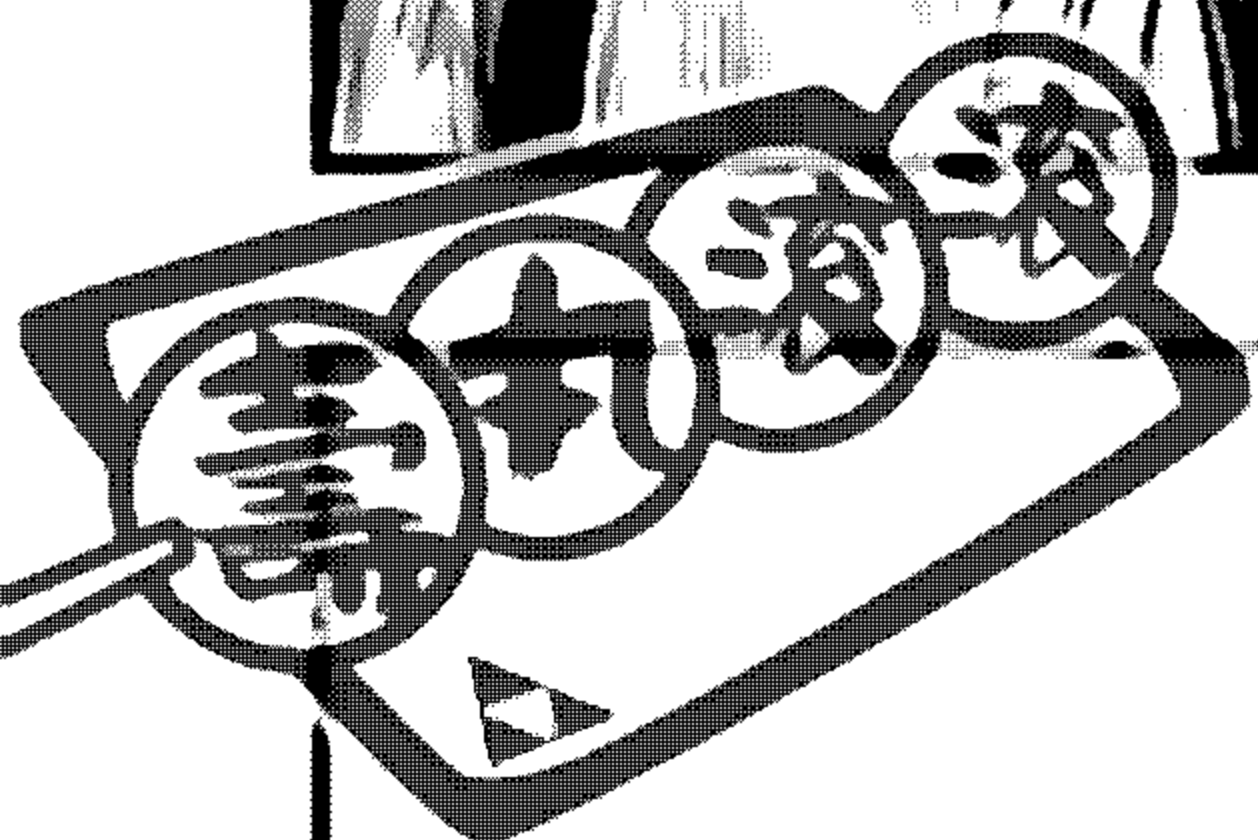
下次我也
試試看吧

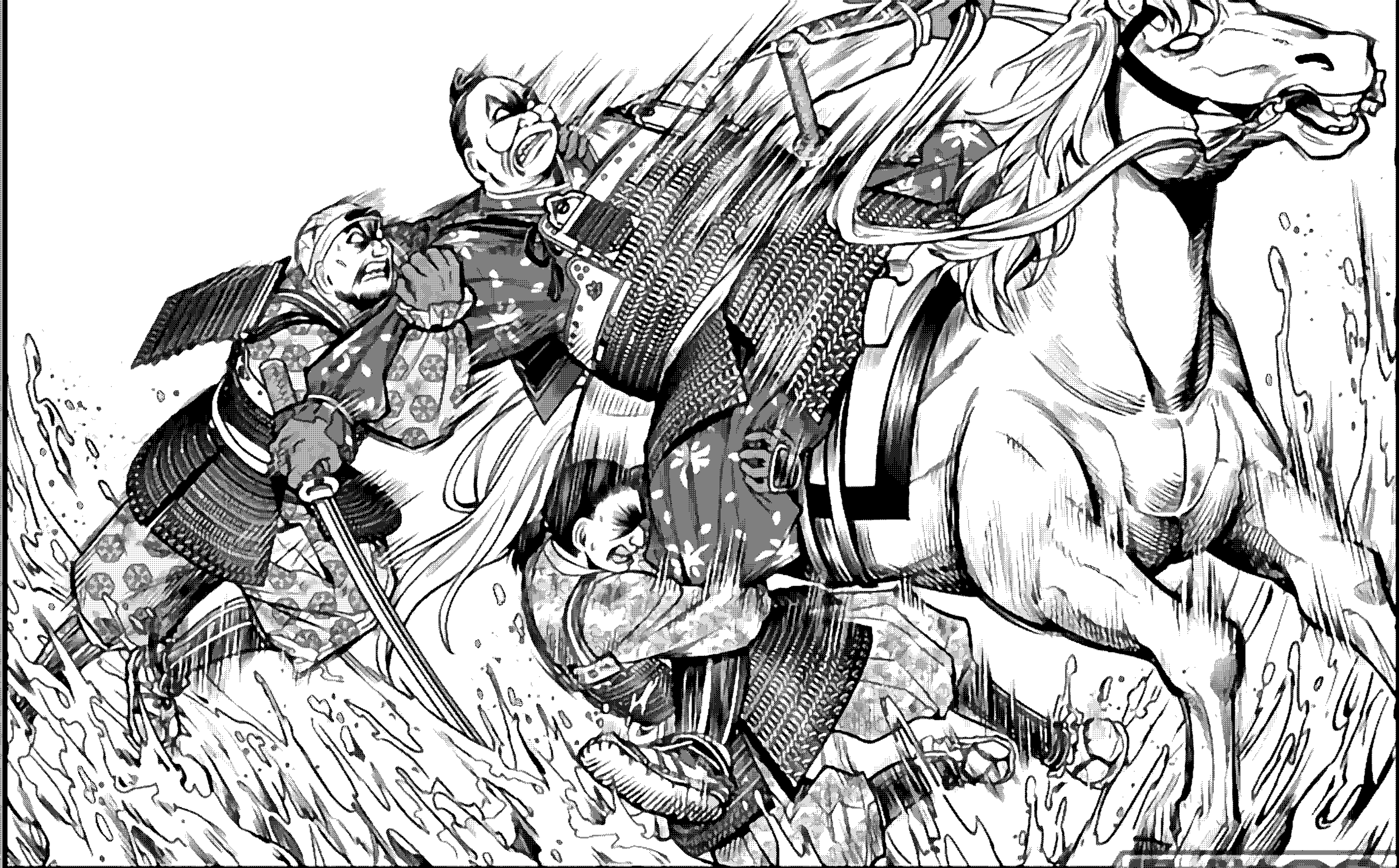


喂
別倒下啊

我不打算
給你個痛快了

先卸掉你
一條手臂……





什……

一不留神
讓馬停下了吧！

已經
沒有步兵
能救你了！



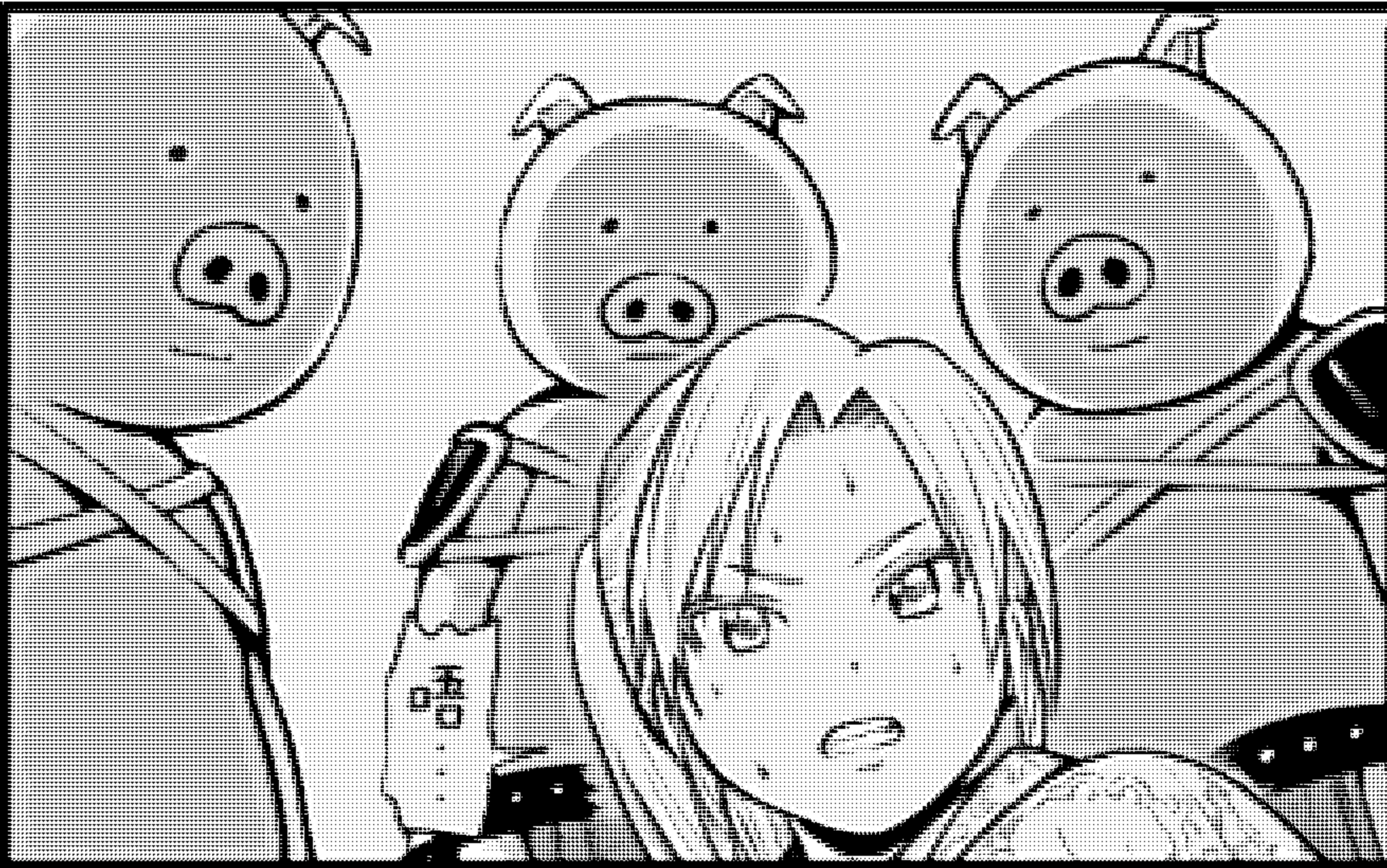
在敵方步兵
包圍下
萬不可
停下馬匹

一旦馬
被擊倒

或被人
從馬上
拖拽下來

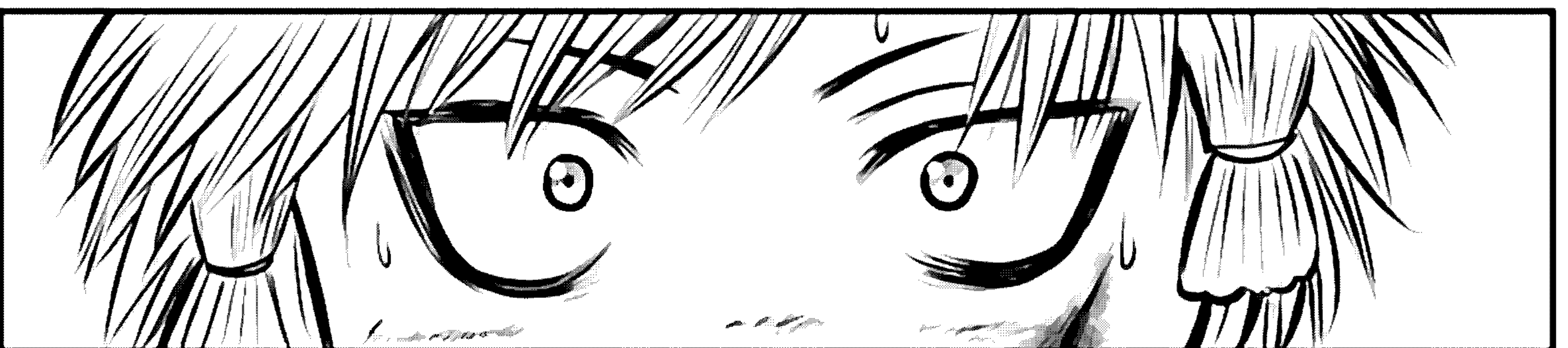


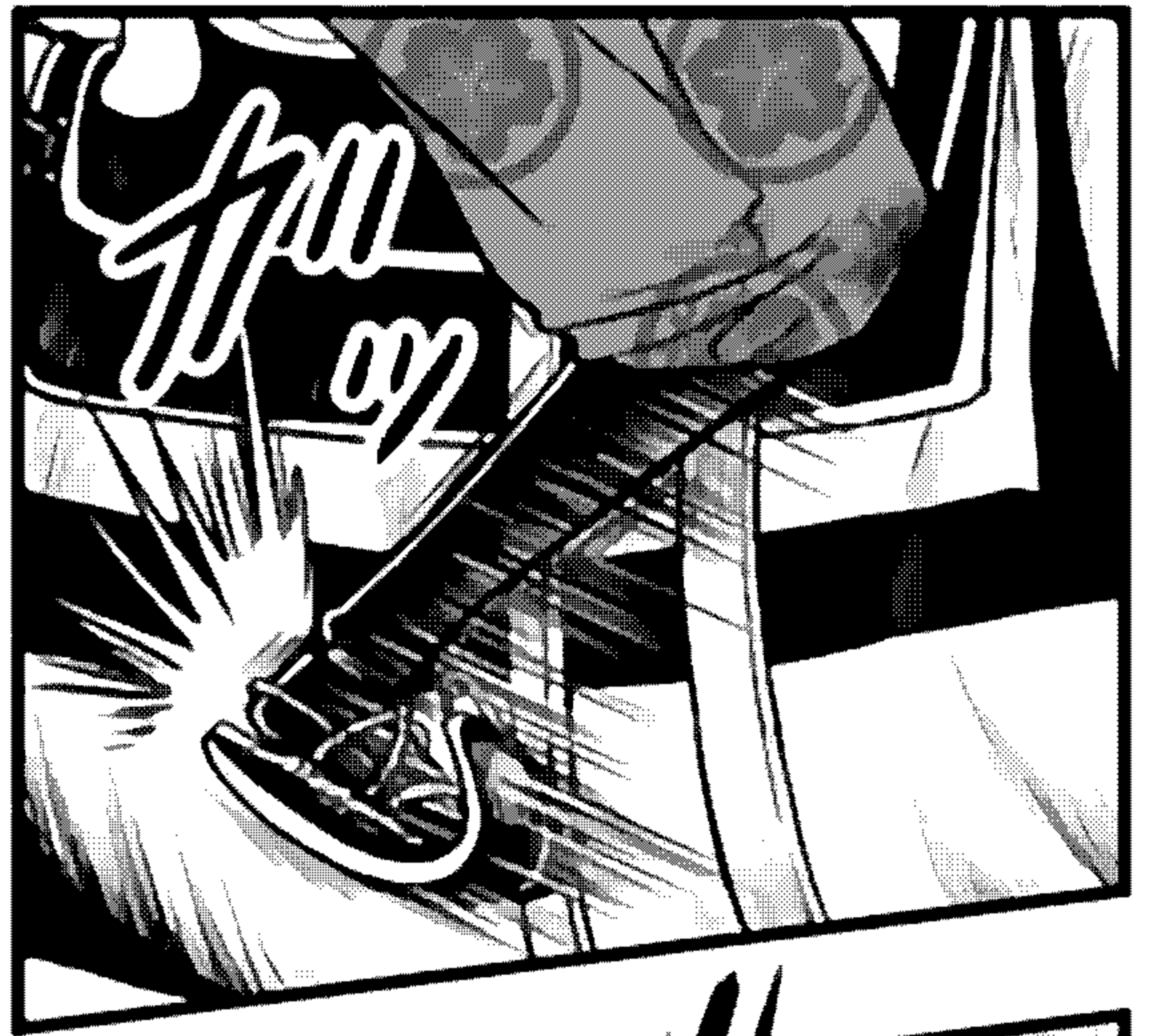
騎兵就只能
淪為步兵



動手
弧次郎！

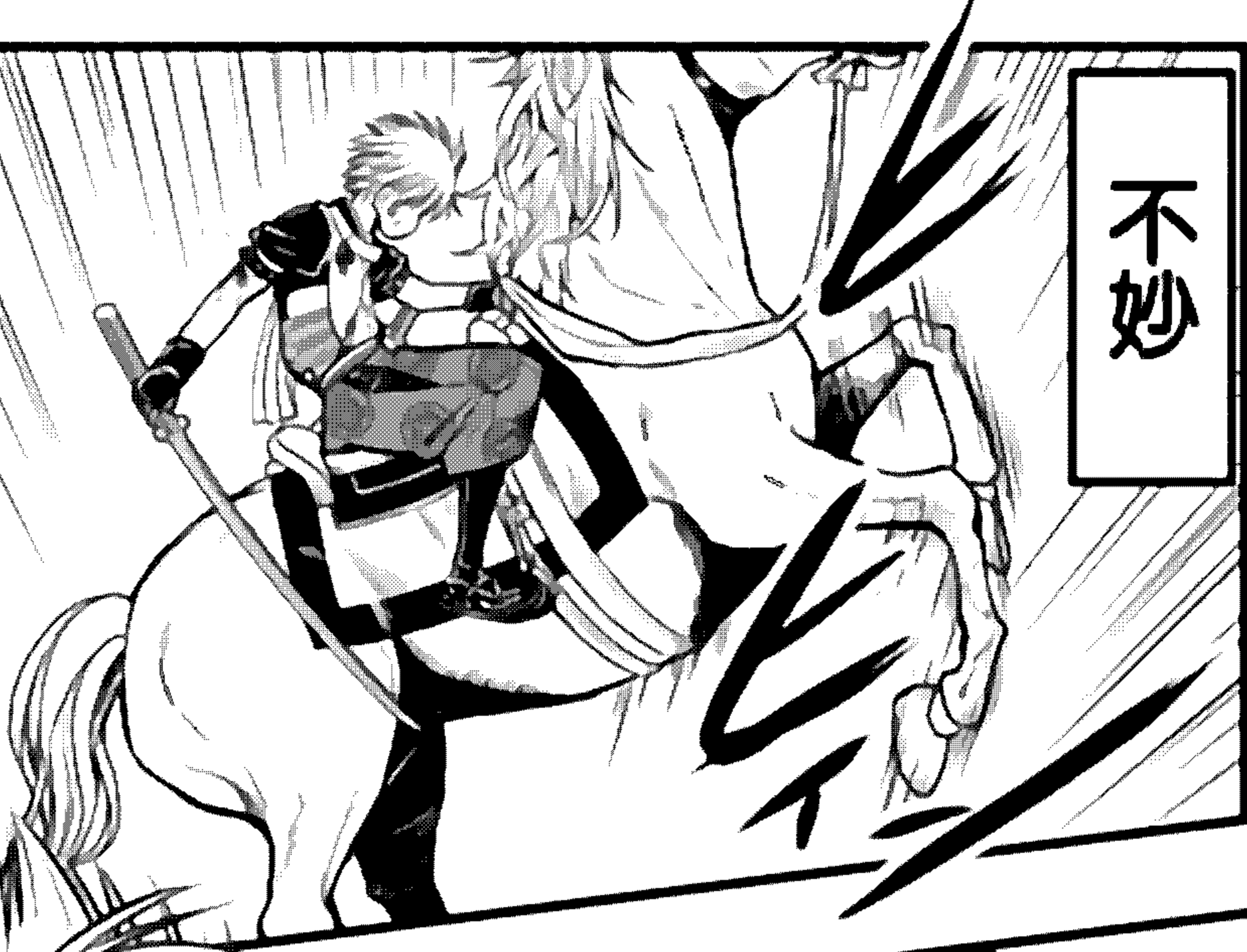
該立戰功
了！





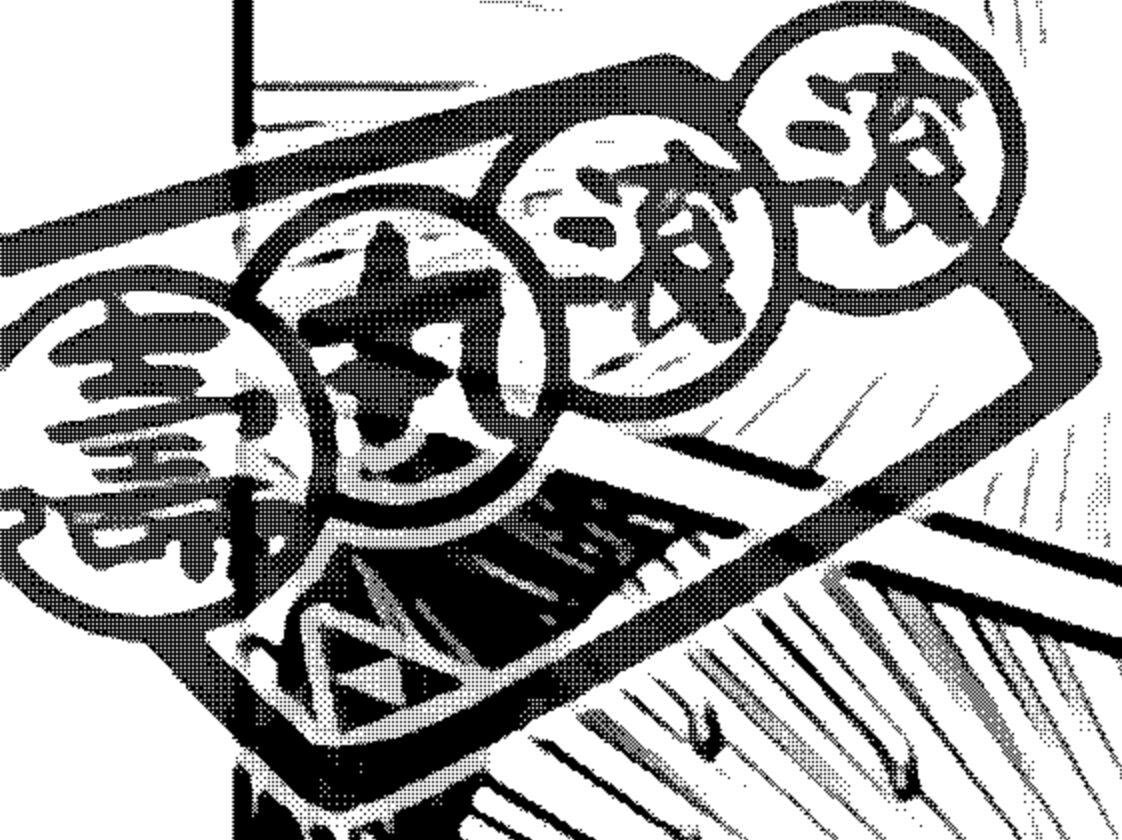
不妙

好開心



你的首級
和威勢！

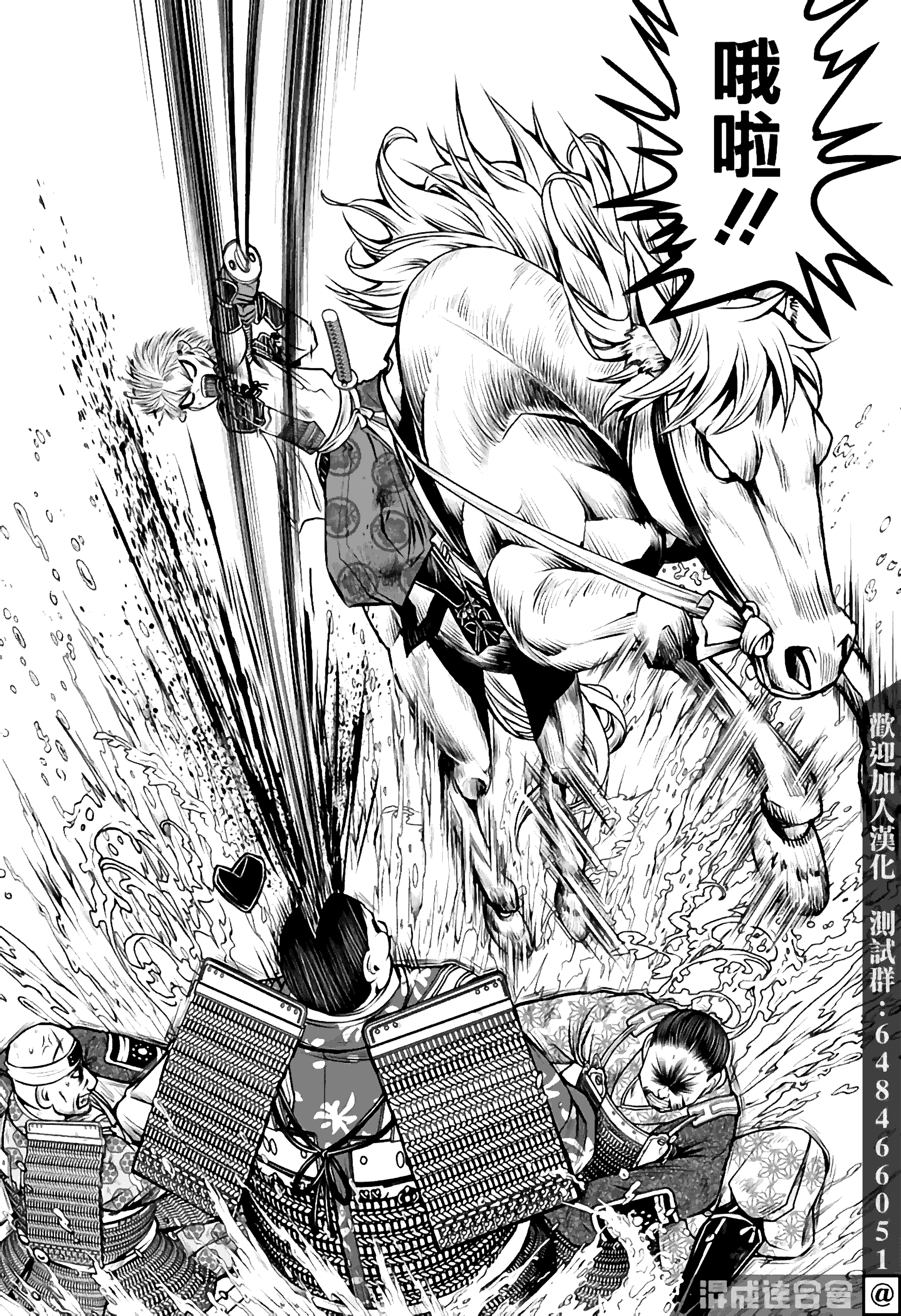
我少逃黨
弧次郎
收下了！



和大家
一起作戰

開心到
不行

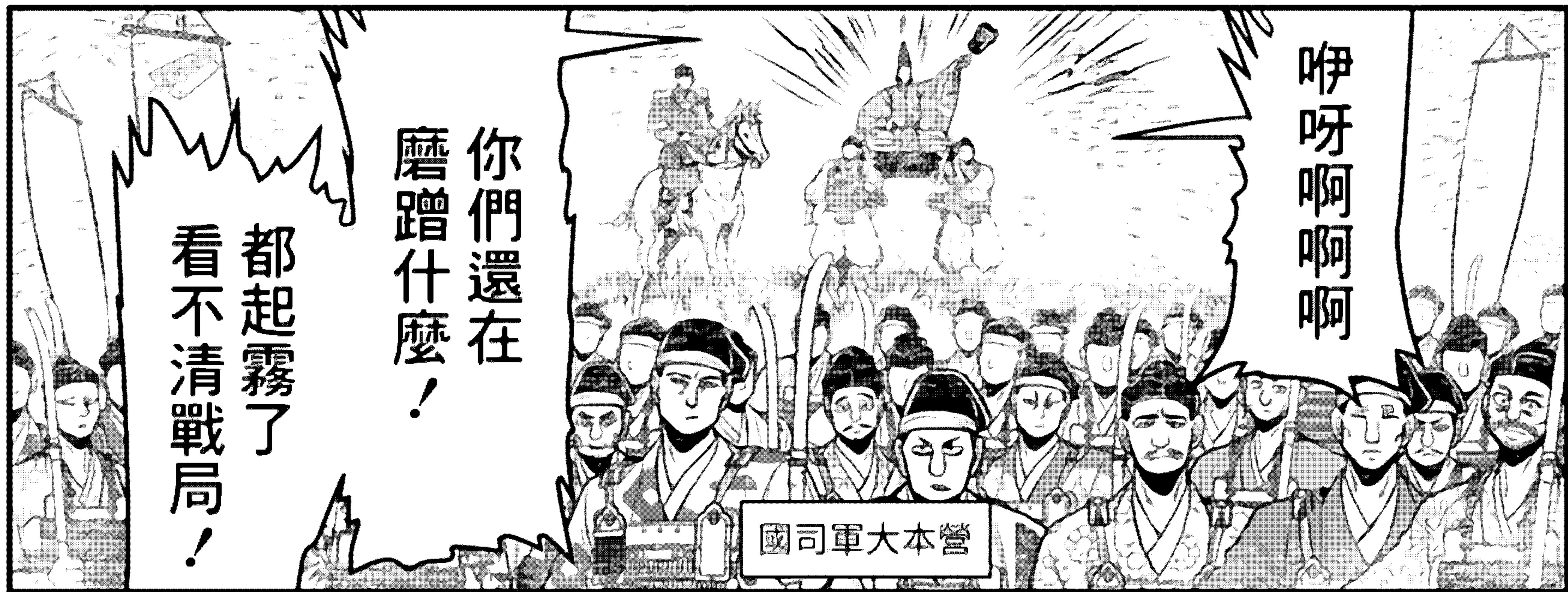
哦啦!!



歡迎加入漢化 測試群：648466051

漫成迷合集

@



咿呀啊啊啊

你們還在
磨蹭什麼！

都起霧了
看不清戰局！

國司軍大本營



アアアア
オオオオオオ

聽聲音來判斷
敵方後衛軍
正在奮戰

情況
忽好忽壞

不過到時候
總能靠數量差
擊潰他們吧

雖說那樣下去
女人小孩
都會跑掉



女人小孩
都會跑掉！？

快追
市河！

麻呂要把
精挑細選的女人
放進麻呂樂園！

可我們
一走
國司大人的護衛
就沒人了

敵人都跑了
護衛留著作甚！

不懂兵法的
鄉下武士！

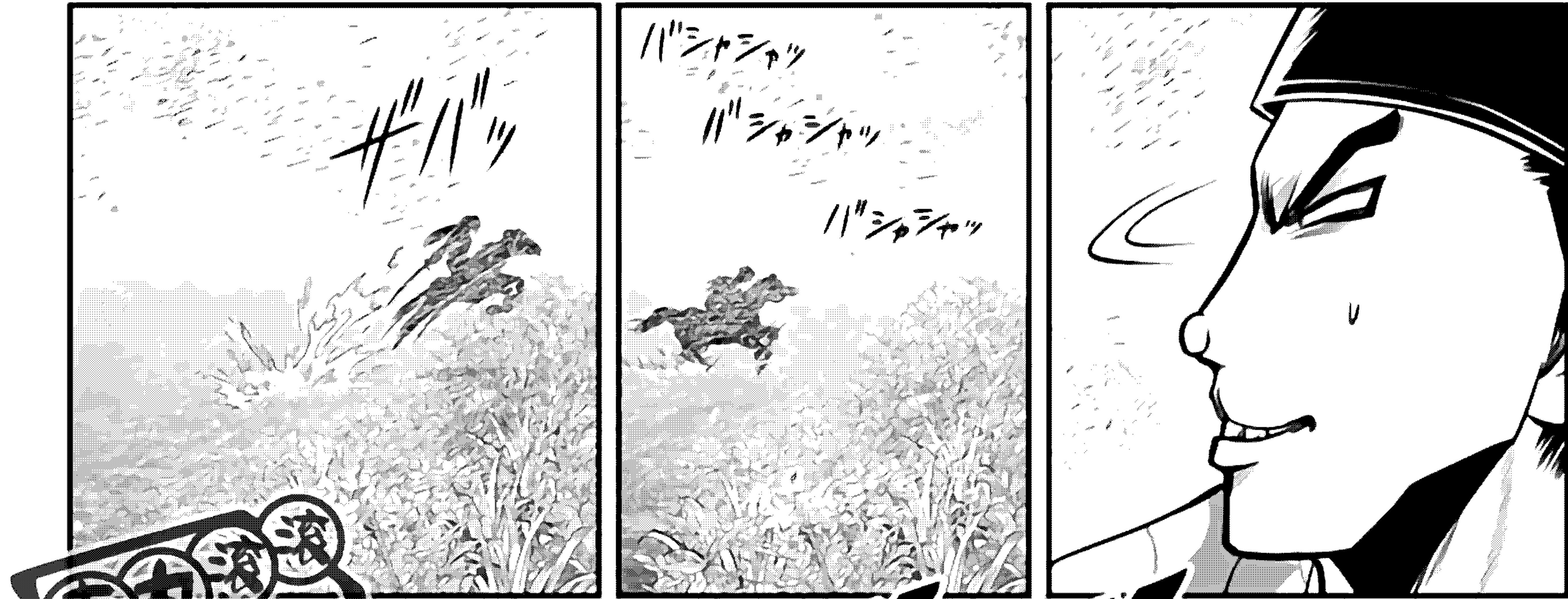
你倒挺
惜命！

武士就該
衝鋒陷陣！

噫
真是的……

禁營利禁講漫禁盜轉

@ 混成洋行



★目標國司!!
吹雪、一騎出撃!!

少主溜得快

第30話
... 本話完

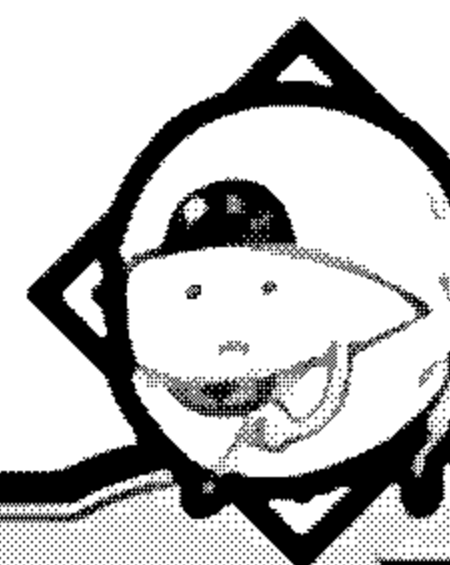
解説上手の若君

今週は松井先生が執筆中に気になった質問を特別に解説!

解説 本郷和人

1960年 亀有生まれ。歴史の研究者である東京大学史料編纂所の教授。おっちゃんといわれてテレビや雑誌にも出演する。

軍勢の単位について



「**軍勢**を数える単位として「**騎**」がありますが、**軍勢**のすべてが**騎兵**だったわけではなく、**騎**は**騎兵**のことです。どのよう**に数える単位**だったのでしょうか。

1156年の保元の乱で平清盛が率いていた**軍勢**が300騎、源義朝(頼朝の父)が200騎。これは**実数**に近いと言われています。このとき、**馬**

解説まで読まれるとは流石ですね

読まれなかった方々は

保科軍の門番

一頭には**歩兵**が何人か付き従うから、清盛が率いていた**軍勢**は1000人は越えている、という研究者がいます。うーん、どうなのかな。

騎兵にはたしかに**歩兵**が付き従うんです。戦国時代の結城氏という大名の場合、「5貫の収入が見込める領地をもつ者は合戦に参加せよ。10貫なら家来を一人連れてこい。15貫なら、自分は馬に乗って、家来二人を連れて参加せよ」とあります。これを見ると、確かに**騎兵1**を**歩兵2**が支えているので、清盛は900人の兵を率いていた、ともいえそう。

ただし、源平の戦いの頃までは、戦国の基本は一騎打ちなんです。歩兵は戦力にならない可能性がある。そうすると、

300騎の戦力は300人前後、という解釈もあり得るんですね。正直、ちゃんとした研究では答えが出てません。足軽たちが活躍する戦国時代になると、

騎という書き方はほぼなくなります。この漫画の時代が、集団戦に移行する時期で、

騎という表記の最後の時期かも。



今日一日で全滅しかねない戦力差ですが...
我々の手で日没まで持ち堪えさせる

→どういった数え方にせよ今回の戦は4倍弱の戦力差だったわけです。その戦力差ではさすがの保科も正面からぶつかるのは厳しい。果たして無事逃げきれぬのか!

卷末語

吃墨魚明太子時
不知怎的
有一粒明太子飛到
眼睛裡來了。好痛。

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

澤澤
桐ri

測試群

648466051

歡迎加入漢化

@混成連合會

首發微博

壽丸滾滾漢化

第30話

少主溜得快

監製

三十二